

チームで協力し合う ～第7回運動会を開催～



チームリーダーによる選手宣誓



50m 走は個人表彰もあるので、皆必死！



大きい子も小さい子も協力しての綱引き

皆さん、こんにちは。日本では梅雨に入るころでしょうか。こちらカンボジアでは日本に先立ち、すっかり雨季となりました。毎日雨が降る前後は気温が下がり、冷え込みますが、それ以外ではカラッと晴れる日が続いています。

今回のDream通信では、5月に行った運動会について、そして2人の新入園児についての2つをお伝えします。

運動会

5月18日、「夢追う子どもたちの家」で、子どもたちと職員全員参加しての運動会を行ないました。

運動会は今回で7回目を迎えます。日取りを決め、まずはチーム決めミーティングを行いました。イベント委員長であるチョム・サルーンが中心となり、7チームのリーダーをまとめ、各チームの2名ずつのリーダーでチームのメンバーを決めていきました。またミーティングの中で、運動会を行うこと目的を全員で確認しました。「体を動かして健康になること」「たくさん運動した後においしいご飯をたくさん食べること」「勉強が苦手だけどスポーツは皆より頑張る」「チームの中でお互いに助け合い、協力し合うこと」「おもいきり楽しんで、もっと勉強を頑張る」等、子どもたちから意見が上がりました。

ミーティングの翌日からは、運動会当日まで各チーム練習に励みました。特に大縄跳びはチームの全員で息を合わせられるかが、たくさん跳べることにつながるため、何度も繰り返し練習していました。

当日は雲ひとつない快晴！絶好の運動会日和となりました。予定通り朝8時から運動会がスタートです。

まずはチームリーダーたちによる選手宣誓を行い、みんなで協力し合い、正々堂々と戦うことを誓いました。

1種目は50M走です。スタートを切った子どもたちが全力で走ります。周りで見守るチームのメンバーも、声を振り絞って応援し、自分のチームメンバーが一番でゴールを切ると跳びあがって喜びました。



最後のリレーは大盛り上がり！



最後の結果発表



とても仲良しの姉弟です



保母さんと文字の勉強をしています

2種目目は大縄跳び。練習の成果を発揮しました。その後、綱引き、袋とび競争と続き、お昼ご飯をはさんで午後からは小学生による玉入れ、中学、高校生のドッジボール、そして最後に全員そろってのリレーを行いました。

それぞれのチーム、力もチームワークも均衡で、最後まで結果がわからない戦いとなりました。全種目が終了する頃には全員くたくたになっていました。

最後の結果発表では、総合得点で順位が発表されると、疲れも吹き飛びまた跳びあがって喜びました。優勝したチームは、メンバー全員で喜びを分かち合い、負けたチームもお互いの健闘を称えあっていました。

今回の運動会を通して大きい子も小さい子もお互いに助け合い、応援し合い、競技に取り組むことが出来ました。また、全員が力を出し切り、協力できたからこそ運動会は大成功しました。この経験を忘れず、毎日の中でもお互いを助け合い、また明日からの勉強を頑張る力として欲しいと思います。

新入園児

5月2日、「夢追う子どもたちの家」に新たに2人の子どもが入園しました。ポウ・ソピー、16歳の中学1年生とポウ・レアスマイ、9歳の小学3年生の姉弟です。

2人はプレイヴェン州の田舎の村で、姉弟2人きりで生活していました。親戚が近くに住んでいましたが、貧乏で養うことが出来ませんでした。病気になっても病院へ通うことが出来ず、お腹が痛くて泣いていたこともあります。

そんな時、SAJの建てた校舎のある、姉ソピーの通う中学の校長先生から、とてもまじめに勉強をする子だが、貧乏で生活が大変であり、そのせいで毎日学校に来ることすらままならないので園に入れてあげて欲しいとお願いされました。本人に会って話を聞くと、もっと勉強がしたい、お腹が痛くても病院に行けず、毎日のご飯を探すために学校にも行けない生活は辛い、と話してくれ、入園することとなりました。

ソピーは非常に頑張り屋です。園に来たばかりで慣れない中でも、職員のお手伝いを進んで行っています。勉強は他の子に比べてかなり遅れていますが、同学年の子どもたちに交代で教わり、学校でも園でも、毎日頑張って勉強しています。休み時間も教室に残り復習をするなど、休まず勉強しています。

弟のレアスマイは3年生ですが、文字の読み書きがまだ出来ません。学校のない時間は保母さんに文字をひとつひとつ習い、勉強しています。

2人は今まで本当に大変な生活を送ってきました。だからこそ、これからは衣食住に苦勞することなく、安心して、自らの将来のためにたくさん勉強してもらいたいと願っています。